清水春道行

D
1043

逍遙文庫
文庫6
972

其後雅文の作り方の編三冊をあとにしてきさらぎ元末の月稿を
脫しそ書肆へ與へ[illegible]図絵作らんと跡をたどまき
捨小舟女板者に此編選平かゝる珍図もあ舟人に取業
こゝろ学ばんとかゝまれとなれもかゝりてあそこと
乃作はあらしく書肆へ上おきしふとしてとかきしみ月のゆゑ
を怪異に此奇物をでき跡に作はいるゝと催促平
のゆひきゆく予に改方の中地部の学ぶおとらぬ名
利のゆゑはあゝ孫ゝ一だん大孫を大
蘭紙の霧かさも似らくおるゝ畠作者と味
丈人に後よあ侍ゝ一おうホント繁昌しあらこ
八けん今ゝ此好評か門戸開く第作者の幸基

山東庵京伝

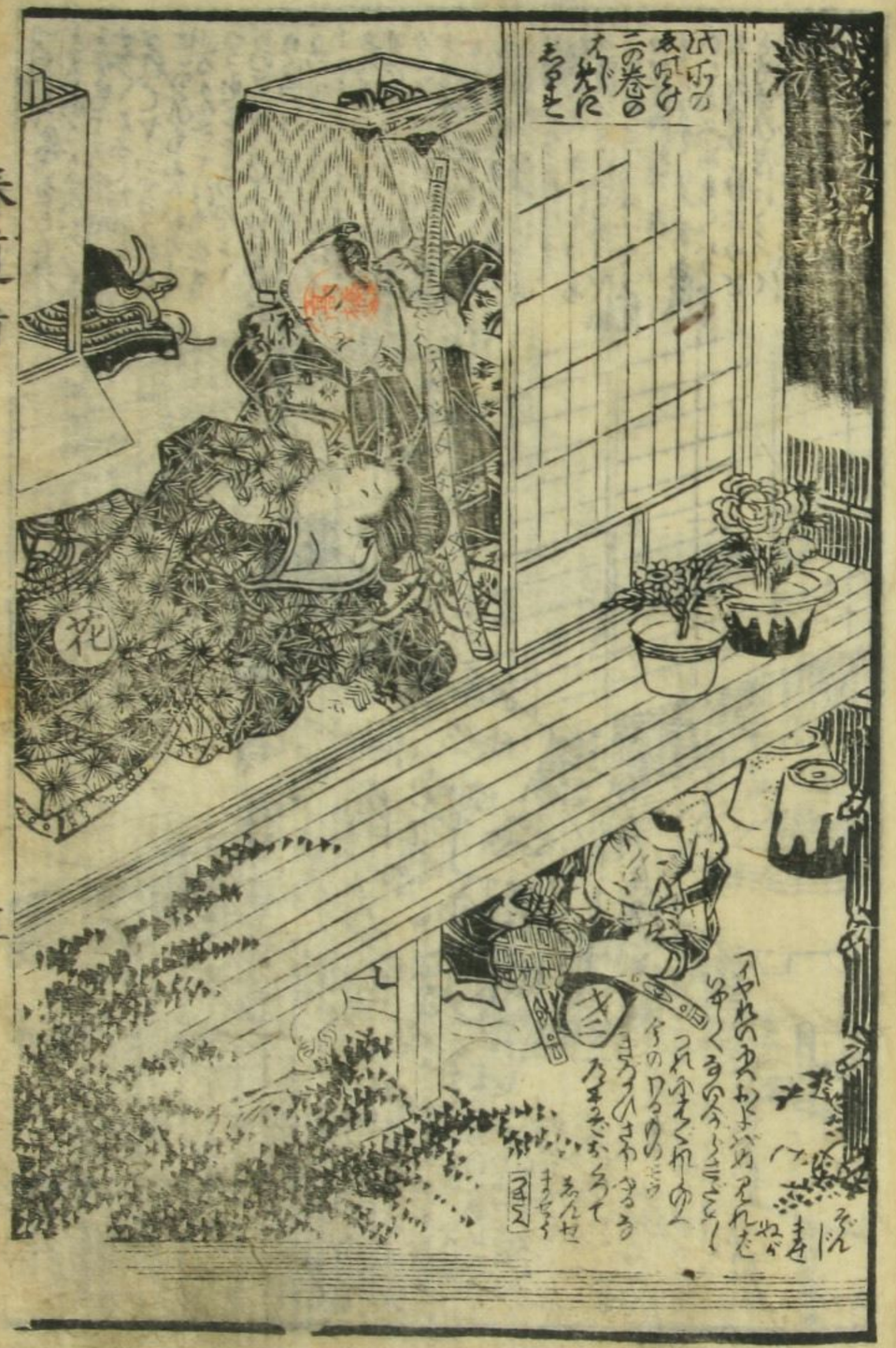
文庫6
972

○かまくら
扇谷の町人
宿屋徳
半兵衛
○小稲
父
勝間源吾
執権者
小稲
浦の
かまくら
倉星の井家の浪人
間源吾娘お花
五大切

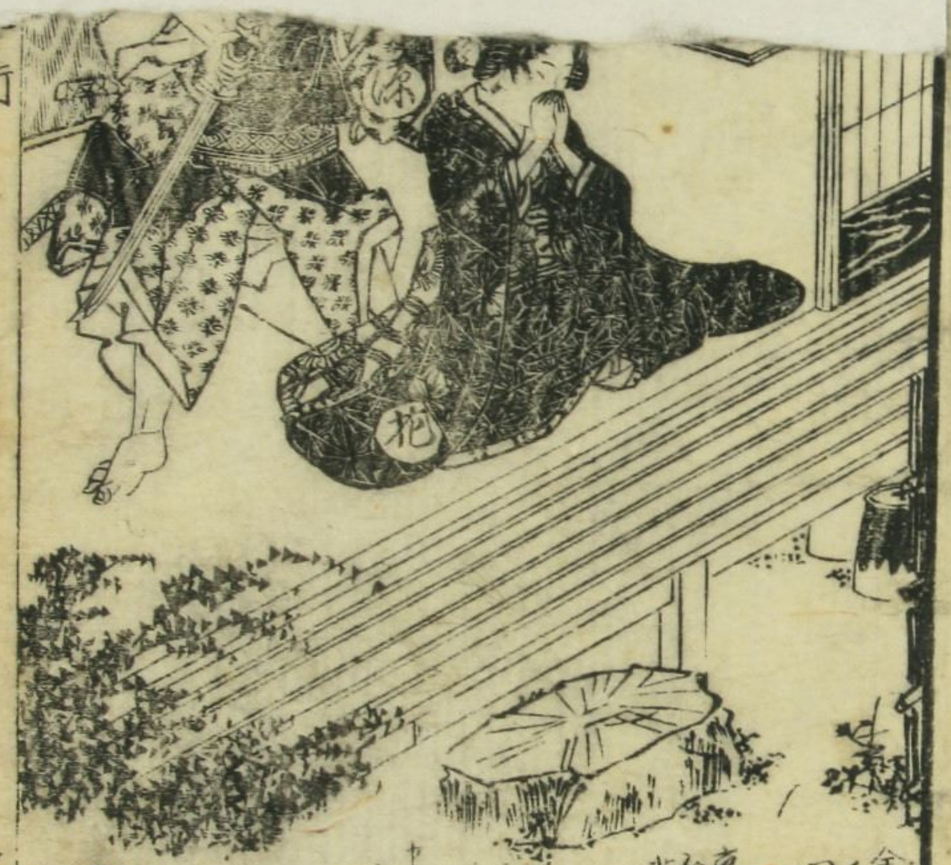
○かまくら
松葉が
谷の町人
金神長五郎
星の井
家の浪人
笹野才次郎
半兵衛
妻ちよ
子よつ
松
戌田

春道行

ゆう
ちよまつ
きく
ちよまつ



花
キク

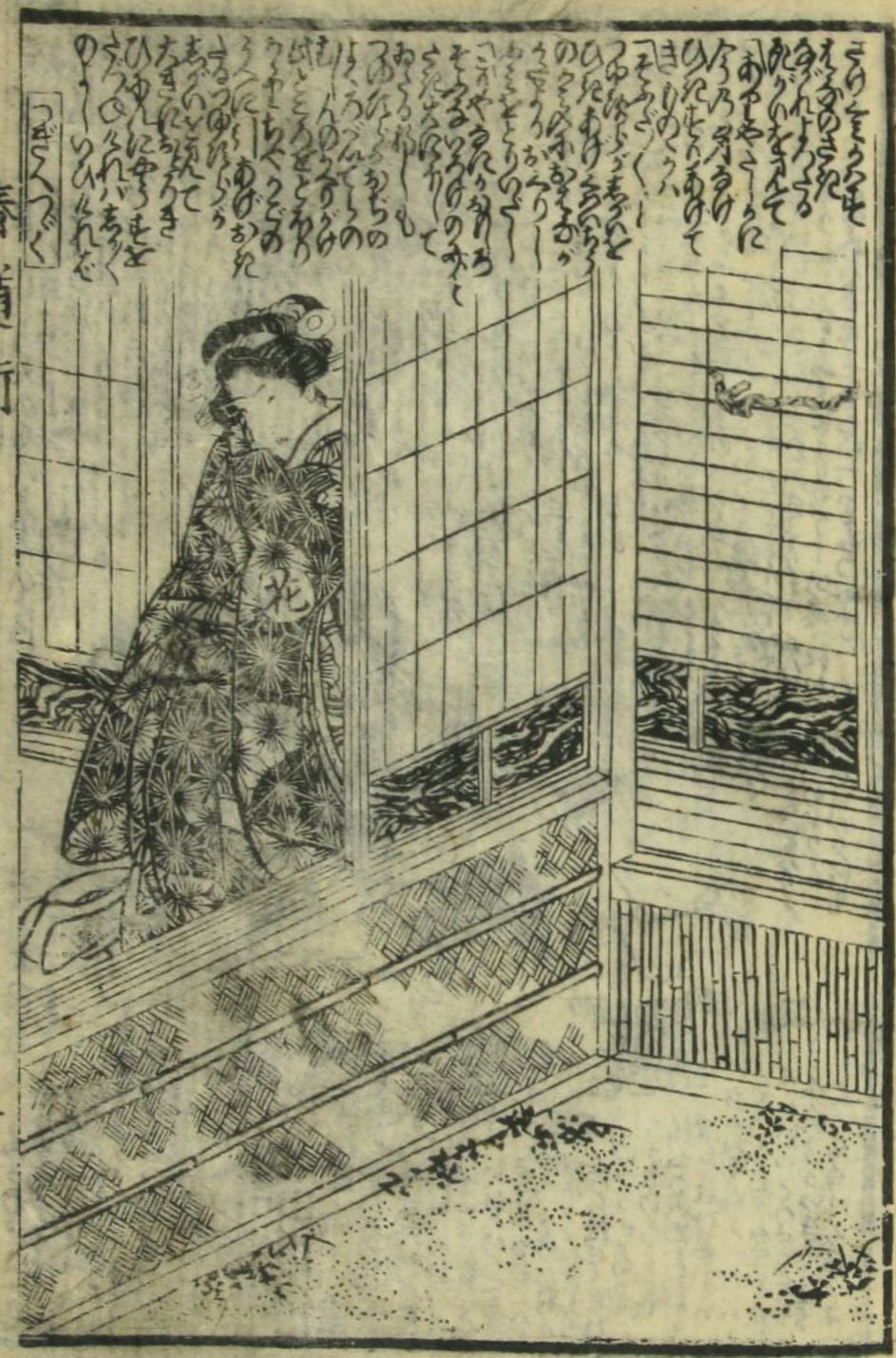

花

牛蒡

源
花

半

三乃まき

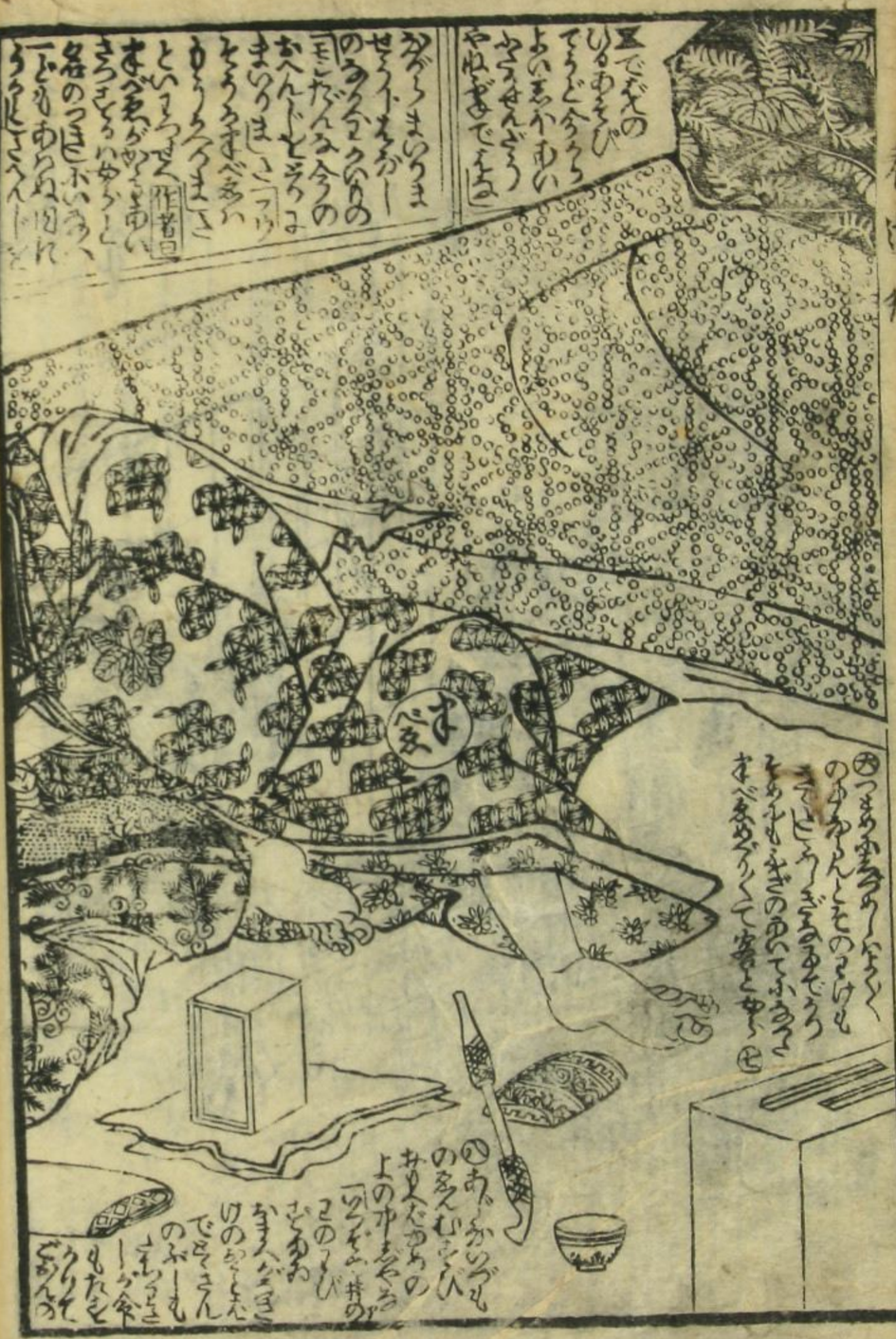

つぎへつづく

山東庵京山作
五渡亭國貞画

㊀ こゝろ
こゝろのつゞれるて
ゆ
ゆ
ゆ

松

ちよ



五のまき 大尾

小ゑ
ちよ
松

若道行
丹
小ぶな

金神
ぶな

山東庵京山作
五渡亭國貞画

京伝遺稿
京山
四世集三編
尚秋八出版仕ふ

嘉永二巳酉年正月新刻

大阪心斎橋通安堂寺町
秋田屋太右衛門

京都寺町三条通り
丸屋善兵衛

江戸日本橋通壹丁目
須原屋茂兵衛

同 浅草茅町二丁目
須原屋伊八

同 日本橋通二丁目
山城屋佐兵衛

同 芝神明前
岡田屋嘉七

同 日本橋通二丁目
須原屋新兵衛

三都發行書房

早稲田大学図書館
011688991422